

患者さんへ / ドナーさんへ
血液検体(15ml)ご提供のお願い

検体保存事業への協力のお願い ～ 移植成績向上のために ～

骨髄または末梢血幹細胞移植の成績向上を目的とした研究のために
あなたの血液をご提供いただきたくお願い申し上げます

以下の説明をお読みいただき、別紙「意思確認書」にあなたのご意向をご記入のうえ、ご署名いただけましたら幸いです。
枠の中を必ずお読みください。 ⇒ ※印は補足説明ですので必要に応じてお読みください。

1. あなたの血液検体がなぜ必要か

どうすれば患者さんがより安全で効果的な移植を受けられるのか、どうすればドナーさんからより安全に採取ができるのか等を解明していくためには、医学的な研究が不可欠です。
患者さん/ドナーさんからいただく血液検体(15ml)は、検査結果・治療方法などのデータとともに、今後の移植医療の発展のために行われる研究にとって大変貴重な材料となります。

2. データ・検体をどう処理し保存・保管・管理するか

いただいた検体は、誰のものかわからないように匿名化されて、当財団の指定する検体保存施設に届き、そこで研究に使えるように保存され、検体の一部は試料化されて保存されます。
データも同じように匿名化されて、当財団の指定するデータ管理機関で保管されます。
ですから、データ・検体には個人識別情報(住所・氏名など)は付いていません。
個人識別情報は当財団で厳重に管理し、外部に漏れることはありません。

※ 誰のものかわからなくなるようにすることを「匿名化」と云います。

※ ここで云う「試料化」とは、検体から細胞や DNA を分離、増殖させて研究に使えるようにすることです。

3. データ・検体が保存された後 研究者に渡されるまで

研究の申請があった場合は、提供していただいたデータと血液検体を使って良いかどうかを、当財団と、利用を希望している研究者の所属する機関で慎重に審査します。
両方で承認された研究者に、データ・検体がそれぞれデータ管理機関と検体保存施設から、個人がわからない形で渡されます。

※ 当財団で審査を受け持つのは「データ・試料管理委員会」と必要に応じて「倫理委員会」の両委員会です。

※ 審査基準に基づいて、適正な目的の範囲内の研究であるかどうか、研究計画の内容や方法が科学的・倫理的に適切であり、患者さん/ドナーさんの人権が守られているかどうかを審査します。

※ データについては、統計・解析を目的に、個人がわからない形で関連する学会に提供いたします。



